

# 第39回法政大学大学院まちづくり都市政策セミナー プログラム

2014年度全体テーマ

「市民社会における〈共生〉の諸相—まちづくりにおける規範力—」

日程:2014年10月25日(土)

会場:法政大学市ヶ谷キャンパス

要事前申込・入場無料

「格差社会」の深化、「限界集落」化の進行、同時に首都圏への一極集中、都市における貧困の拡大とコミュニティの空洞化、そして自然環境・地球環境の悪化、自然災害の多発等々、日本社会をとりまく環境は、市民の主体的な助け合い、すなわち〈共生〉の重要性が増しています。

今年のまちづくり都市政策セミナーは、こうした政治・経済・社会・自然環境の変化を踏まえて、市民社会における〈共生〉について、多元的な視点から議論し、考察します。

**会場:外濠校舎4階 S405教室**

■開場(9:50~)

■開会の挨拶(10:20~)

■基調講演(10:30~11:30)

「ソーシャル・インクルージョンと都市政策」

開催趣旨

近年、社会経済環境の変化に伴い「格差」が拡大し、生活困窮に至るリスクの高い人々が増大、生活保護受給者は200万人を超えています。高齢化の進展とともに生活困窮者の一層の拡大が見込まれ、階層化した社会では平穏さが脅かされつつあります。すべての人々の人格と個性を尊重し合い、生き甲斐を持って生活できる豊かな社会にするにはどうしたらよいのでしょうか。反貧困ネットワーク事務局長として活動を行っている湯浅氏に、社会活動家としての経験を踏まえ、貧困状態に陥る社会的な問題構造と、包摂型社会構築に向けた都市政策について語っていただきます。

法政大学大学院人間社会研究科教授 湯浅 誠

コーディネーター 水野 雅男(法政大学大学院人間社会研究科教授)

■昼食休憩、ポスターセッション(12:00~13:30)

「学生たちがフィールドへ 地域づくりの活動実践・研究報告」(院生の研究成果、学部のゼミ活動など)

**会場:外濠校舎4階パブリックスペース**

開催趣旨

大学院生や学部生が、所属ゼミ単位あるいは実習授業(フィールドワーク)、ボランティアサークルなどを通じて、調査研究に基づいた政策提言を行ったり、地域づくりを支援したりしています。第2回となる今回は、20グループがポスター参加する予定です。各グループの代表学生が順番に地域づくりの実践報告について発表し、すべての発表終了後にそれぞれのポスター前で質疑応答や意見交換を行います。

コーディネーター 関司 直也(法政大学大学院人間社会研究科准教授)

※昼食は55・58年館地下1階第一食堂又はボアソナードタワー地下1階フォレストガーデンのご利用が可能です。

■分科会・パネルディスカッション(13:45~16:00)

①「自然再生とローカル・アクション—首都圏からの展望」

**会場:55・58年館5階855教室**

開催趣旨

今から半世紀まえの高度経済成長の時代、都市化と工業化により大都市圏では、多くの貴重な自然が破壊され、地域環境と市民生活の様々な共生関係も失われました。21世紀は環境の世紀といわれますが、この分科会では、市民社会による2つのローカル・アクション、多摩川における環境教育と東京湾の海辺の再生の

担い手のメッセージから、文明史的な視点も交えつつ、首都圏における自然再生と次世代への継承について展望します。

坂本 昭夫(海をつくる会事務局長)

榎本 正邦(えのきん事務所代表・NPO 法人多摩川センター研究員)

コメンテーター 高田 雅之(法政大学大学院公共政策研究科教授)

コーディネーター 小島 聡(法政大学大学院公共政策研究科教授)

## ②「人と水が共生する都市空間」

会場:55・58年館5階856教室

### 開催趣旨

1970年代以降、“親水公園”に代表される水辺整備が全国各地で進められてきました。本分科会では、そうした都市空間における“人”と“水”とのかかわりとして、環境負荷をなるべく少なくする水環境循環型社会の創出に向けた快適なまちづくりの考え方を示すとともに、そのような水辺空間における人間行動について、また、居住環境整備計画の推進における住民参加や合意形成の進め方について考えます。

村川 三郎(広島大学名誉教授)

畔柳 昭雄(日本大学教授)

市川 尚紀(近畿大学准教授)

コーディネーター 上山 肇(法政大学大学院政策創造研究科教授)

## ③「市民セクターが創る連帯社会」

会場:55・58年館5階858教室

### 開催趣旨

成熟社会を迎えた日本では、従来型の市場と政府の活動だけでは解決できない新しい社会的課題が次々と発生しています。課題解決のためには、共助を基調とする人々の連帯型の社会をつくりあげていく必要があります。企業、行政と対等な関係に立つNPO・NGOや社会的企業、協同組合、労働組合等、市民セクターの立場から、その可能性について討論します。

東 一邦(さいたまNPOセンター理事)

山本 伸司(生協・パルシステム理事長)

高橋 均(中央労福協アドバイザー)

山岸 秀雄(法政大学大学院連帯社会インスティテュート設置準備委員長)

## ④「ボランティア・名誉職の歴史的展開と市民社会の現在」

会場:55・58年館6階867教室

昨年度は理論的な見地から「市民社会」という政策概念を思想史的国際比較的に検討しましたが、これを踏まえて今年度は、日本のほかいくつかの国について実際の政策現場や歴史的な実証的素材を取り上げ、やや具体的に「市民社会の現在」に迫ります。

中島 智人(産業能率大学准教授)

辻 英史(法政大学人間環境学部准教授)

山本 卓(法政大学法学部教授)

コーディネーター 名和田 是彦(法政大学大学院公共政策研究科教授)

## ■総括パネルー〈共生〉概念の規範力をめぐって(16:30~17:30)

会場:外濠校舎4階S405教室

### 開催趣旨

総括パネルでは、①~④の分科会で議論された内容を踏まえて、〈共生〉という概念が市民社会を望ましい方向にリードするという意味での規範力を有しているのかどうか、またどのようにすればその規範力を高めることができるのかについて、議論したいと考えます。

## ■懇親パーティ(17:45~19:45 参加任意)

会場:富士見坂校舎地下1階 富士見坂食堂

会費:1,000円